

新能 たけしま

俊成苑

波頭はきらめく幽玄のなか
タヤみ迫り竹島浮かぶ

2018 4.29 日

開場・開演/17:00

蒲郡竹島園地 俊成苑特設開場

〈雨天時の場合〉蒲郡市民会館 大ホール

入場料 5,000円〈全席自由〉

〈チケット販売〉蒲郡市役所観光商工課・蒲郡市生命の海科学館(生涯学習課)
・蒲郡市観光交流センター(ナビテラス)

【主催】たけしま新能実行委員会 【共催】蒲郡市・蒲郡市教育委員会

【協力】蒲郡商工会議所、蒲郡国際交流協会、蒲郡市文化協会、

蒲郡市観光協会、蒲郡観光協会

【後援】東愛知新聞社、蒲郡新聞社

【問合せ先】蒲郡市 観光商工課 TEL.0533-66-1120

薪能



蒲郡市長
稲葉 正吉

蒲郡たけしま薪能の開催にあたって

平成19年4月29日、蒲郡市の竹島園地をリニューアルし、新たに俊成苑を開苑しました。その記念に、「たけしま薪能」が開催されました。あたり一面が薄闇に包まれる中、篝火と竹島橋の灯りが幻想的に浮かび上がり、舞台は平安時代にタイムスリップしたかのような雰囲気となり、大変好評な催しとなったことを記憶しています。「たけしま薪能」が、多くの市民の皆様と各団体様のご参加・ご協力により、11年ぶりに盛大に開催されますことを感謝申し上げます。多くの市民、観光客の皆様そして私共にとりまして「たけしま薪能」がゴールデンウィークの素晴らしい思い出となり、「文学のまち蒲郡」として誇りとなることを祈念いたします。

番組

五時
雅楽
津軽三味線(千葉)
八剣雅楽倶楽部
山内兼男
六時
挨拶
蒲郡市長
稲葉正吉

俊成能

六時十五分
火入れ式
蒲郡市長
蒲郡商工会議所会頭
稲葉正吉
小池高弘
六時三〇分

仕舞

竹生島 山中雅志
俊成忠度 野村昌司
羽衣 久保信一朗
地謡
伊藤裕貴
武田文志
武田友志
清沢一政

六時四十五分

狂言

酔薑 酔売 佐藤友彦
晝売 鹿島俊裕
後見 井上松次郎

休憩一〇分

七時二〇分

能

頼光 武田友志
トモ 武田文志
胡蝶 久田三津子
シテ 久田勘鷗

土蜘蛛

大坪賢明
江崎欽次朗
秋田英基
井上松次郎
大鼓 河村裕郎
小鼓 船戸昭弘
太鼓 加藤洋輝
笛 藤田六郎兵衛
後見 伊藤裕貴
清沢一政
地謡
吉沢 旭
八神孝充
松山幸親
久保信一朗
山中雅志
野村昌司

終了予定
八時三〇分頃

土蜘蛛 解説

病気で臥せる源頼光(みなもとのかげのこう)のもとへ、召使いの胡蝶(こちょう)が、処方してもらった薬を携えて参上します。ところが頼光の病は益々重くなっている様子です。

胡蝶が退出し、夜も更けた頃、頼光の病室に見知らぬ法師が現れ、病状はどうかと尋ねます。不審に思った頼光が法師に名を聞くと、「わが背子(せこ)が来(く)べき宵なりささがにの」と『古今集』の歌を口ずさみつつ近付いてくるのです。よく見るとその姿は蜘蛛の化け物でした。あつという間もなく千筋(ちすじ)の糸を繰り出し、頼光をがんじがらめにしようとするのを、頼光は、枕元にあった源家相伝の名刀、膝丸(ひざまる)を抜き、払い、斬りつけました。

すると、法師はたちまち姿を消してしまいました。

騒ぎを聞きつけた頼光の侍臣独武者(ひとりむしや)は、大勢の部下を従えて駆けつけます。頼光は事の次第を語り、名刀膝丸を「蜘蛛切(くもきり)」に改めると告げ、斬りつけはしたもの、一命をとるに至らなかった蜘蛛の化け物を成敗するよう、独武者に命じます。

独武者が土蜘蛛の血をたどっていくと、化け物の巣とおぼしき古塚が現れました。これを突き崩すと、その中から土蜘蛛の精が現れます。土蜘蛛は千筋の糸を投げかけて独武者たちをてこずらせますが、大勢で取り囲み、ついに土蜘蛛を退治します。

出演者プロフィール

久田 勘鷗(ひさだ かんおう)

仕手方能楽師 故久田秀雄の次男。
重要無形文化財総合指定保持者。
大阪文化祭賞奨励賞受賞、神戸ブルーメール賞受賞、名古屋市芸術奨励賞受賞、名古屋演劇ペンクラブ賞受賞。

(公益社団法人)能楽協会

名古屋支部 副支部長
名古屋観世会 代表
(一社)日本能楽会 会員

